

新たな道路交通調査体系に向けた 今後の取組(案)

令和3年9月

国土交通省 道路局 企画課
道路経済調査室

新たな道路交通調査体系に向けた今後の取組(案)

センサス※の高度化・効率化

※全国道路・街路交通情勢調査

R3 センサス

【一般交通量調査】

- <交通量>
- CCTV活用A I 観測
 - 人手観測廃止 (国調査区間)
- <旅行速度>
- プローブデータ (ETC2.0データを基本)

【OD調査】

- Webアンケート (スマホ)

○関係機関の所有するデータとの連携

常時観測体制の実現

現在の取組

【取得】 ～観測手法の高度化～

- CCTV画像を活用したAI画像解析精度の向上

【蓄積】 ～交通状況の効率的な蓄積～

- ETC2.0データの効率的な処理・保存方法の検討
- 交通量全国集約サーバーの構築

【利活用】 ～ETC2.0データを活用したOD表の構築～

- データクレンジング
- ETC2.0データ等を活用したOD表母集団拡大、補正
- ETC2.0データ等を活用した逆推定

○都道府県・政令市における機械観測の普及促進 等

次期センサス:「リデザイン」

【一般交通量調査】

- 常時観測データで取得不可となる区間のみ調査
- 全調査区間における人手観測の原則廃止

【OD調査】

- アンケート調査のスリム化 (少ないサンプル数と常時観測データを組み合わせ、既存OD表と同程度の精度を担保)

「データの取得・蓄積・利活用」の高度化

- ETC2.0データを活用したOD表の構築 (地域別・日別・時間帯別・車種別)
- 時間信頼性など道路のパフォーマンス分析
- 利活用推進に向けた、交通量・旅行速度等のきめ細やかなデータの蓄積



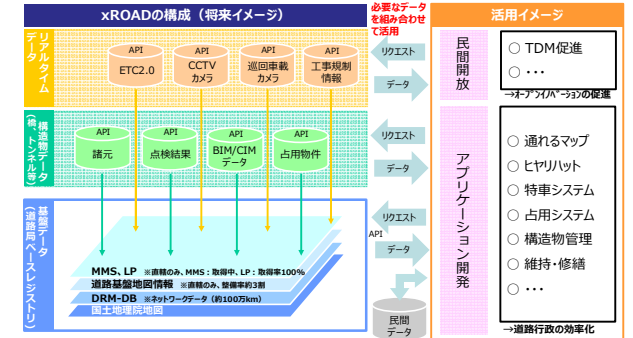
- AI画像解析の進展等による常時観測調査区間、調査対象 (歩行者・自転車) の拡大

連携

外部データ等との連携

xROAD(道路局データプラットフォーム)

- ベースレジストリを整備し、交通量等のリアルタイムデータを紐付けた3次元プラットフォームを構築
- APIによる一部データオープン化によるオープンイノベーションを促進



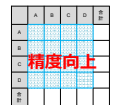
他モードデータ等の外部データとの連携

- 国土交通PF (都市データ等) や他のデータ (物流センサス・特車データ等) との連携
- 自動運転車の普及も見据えつつ、産学官連携 (外部データ連携や地域道路経済戦略研究会) の取組み等の加速

新たな道路交通調査体系によるユースケース(案)

政策/事業評価

- 豊富なデータに基づく多様な評価指標の実現
- 評価の基本データとなるOD表の精度向上



OD表の精度向上構築

等

道路交通マネジメント

日常・平時

- 詳細なODデータの活用により様々な地域で通勤、観光、大規模イベント等の交通状況に応じた効果的な道路交通マネジメントを展開
- 大規模更新、災害等が与える社会的影響を軽減するため、迂回誘導等の交通マネジメントを高度化
- ICT技術の進歩や普及を踏まえた機動的な料金の導入を検討



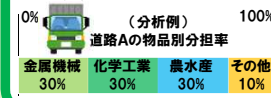
ETC2.0データのフル活用による経路選択や経地把握



等

物流

- 物流関連データと常時観測データのベストミックスによる重要物流道路のパフォーマンス評価とサービス高度化



等

モーダルコネク

- 自転車や歩行者データ等を活用したシームレスな移動を実現する交通拠点の計画 等



(例) モビリティハブ

交通安全

- 生活道路も含め、ETC2.0データ等を活用した潜在的危険箇所の特定制と交通状況のモニタリング 等



(例) 交通安全対策の取組事例(ゾーン30プラス)

1

【参考】xROAD(道路データプラットフォーム)の構成

- 各種データの利活用を促進するため、DRM-DBや道路基盤地図情報、MMS等を基盤とし、構造物等の諸元データや交通量等のリアルタイムデータを紐付けた3次元プラットフォームを構築。
 - このプラットフォームを、道路施策検討や現場管理等に活用するとともに、APIを公開し、一部データを民間開放することによりオープンイノベーションを促進。
- ※API : Application Programming Interface

